



杉並区

すぎなみ

教育報

第172号
 平成16年3月16日
 発行 杉並区教育委員会
 杉並区阿佐谷南1-15-1
 ☎ 3312-2111 FAX 5307-0692
 教育委員会ホームページ
<http://www.kyouiku.city.suginami.tokyo.jp/>
 区公式ホームページ
<http://www.city.suginami.tokyo.jp/>

子どもたちの安全をまもるために

平穏な教室にある日突然、刃物を持った不審者が侵入してきたら…

あなたが先生だったら、児童だったらどうしますか？万が一の危機に備えて、また犯罪から子どもたちを守るために、学校で行われている安全・安心を守る取り組みの一例をご紹介します。



「にげて！」黒いジャンパーを羽織った男に腕をつかまれながら、必死で叫び声を上げる先生。緊張感が張り詰めた教室で繰り広げられたのは、実は杉並第一小学校で行われた「不審者対応の教職員訓練」の一幕。



「幕、定規、椅子など身近な物で、子どもを逃がす時間を稼いでください。」

杉並警察署の協力を得て、本番さながらの訓練となりました。杉並警察署からは、「先生は必ず“逃げなさい！”と言うこと。子どもはいざというとき逃げられないものです。」とアドバイスされました。子ども役の先生は、「体が動かなくなってしまう体験をしました。」と納得の様子。

「子どもたちを守ってあげたい。」と語る先生たちの眼差しは、真剣でした。

杉並署発！不審者対応のポイント

- 1 一撃でやられない
- 2 「逃げて！」の一言と「逃げ口」の指差し
- 3 日頃から危機感をもつこと



「写真撮ってあげるよ」優しい声の裏に「危険」が潜んでいることも…

壮絶な教職員訓練の後日、同校では子どもたちを対象に被害防止教室を行いました。

例によって杉並署員が不審者役を熱演。子どもたちは、路上から呼びかけられる、写真を撮らせて欲しいと迫られる、力づくで連れ込まれるなどの様々な“危険”に直面しましたが、大きな声で「たすけてー」と叫ぶことができました。

「実際にやってみてよかった。」子どもたちは、自分のことをまもる術を学んだようです。

杉並署発！自分の身は自分で守る3か条

- 1 何かあったら大声で叫ぶ
- 2 知らない人にはついていかない 知らない人の車には乗らない
- 3 人影のない場所では一人で遊ばない



ビーボクんと“よい子のやくそく”

杉並の被害防止教育

連れ去りや痴漢などに対して、子ども自らの安全を確保し、被害を未然に防止するための「被害防止教室」は、3学期中にはすべての学校で実施される予定です。（平成15年11月現在、小学校10校、中

学校6校で実施）

区内3警察署・警視庁を講師に招いたものも多く見られますが、新泉小学校のように地域（和泉ピースメーカーズ）の協力を得て、実践的指導を行った例もあります。

▶ 小柴昌俊博士とニュートリノ天文学」展示室がオープンします

ノーベル物理学賞で知られる科学館名誉館長の小柴昌俊博士の功績や生い立ちとニュートリノを中心とする素粒子の世界を紹介する「小柴昌俊博士とニュートリノ天文学」展示室が杉並区立科学館に3月29日から開設します。当日、午前9時30分から小柴先生をお招きし、開設式を行います。問い合わせ先：科学館 ☎ 3396 - 4391

受章者のみなさんおめでとうございます

文化栄誉顕彰 & スポーツ栄誉顕彰

今年度の文化栄誉顕彰とスポーツ栄誉顕彰の受章者が決定しました。



文化栄誉顕彰

杉並区の小・中学校、養護学校の児童生徒の文化活動に関する優秀な成績をたたえ、表彰するものです。

受章者及び団体	功績概要
杉並第一小学校 5年 奈良 香織	Kids ISO 14000プログラム 東京都知事賞
済美小学校 6年 新井 悠介	Kids ISO 14000プログラム 特別賞 (セイコーエプソン賞)
杉並第十小学校 4年 木島 彩	文部科学省認定 日本漢字能力検定 7級 優秀賞
杉並第十小学校 4年 白川 知毅	文部科学省認定 日本漢字能力検定 7級 優秀賞
桃井第五小学校 4年 澤田 進之介	第23回 全日本珠算技能競技大会 個人総合競技 小学生の部 第二位
荻窪小学校 3年 岩間 優	第7回 図書館を使った「調べる」学習賞コンクール 学校部門 優秀賞
浜田山小学校 6年 田中 耕太郎	第7回 図書館を使った「調べる」学習賞コンクール 学校部門 優秀賞
堀之内小学校 5年 三原 憲	第11回 全国小中学生 食の冒険グランプリ 感動ひらめき賞
三谷小学校 5年 秋山 俊大	第15回 太陽電池工作コンクール 努力賞
井荻小学校 6年 入江 早紀	第17回 全国小学生かるた大会 優勝
光塩女子学院中等科 1年 清呂木 さきり	第53回 全国小・中学校作文コンクール東京都審査 佳作
光塩女子学院中等科 2年 滝川 ゆづ	第53回 全国小・中学校作文コンクール東京都審査 読売新聞社賞
光塩女子学院中等科 3年 西澤 彩花	第53回 全国小・中学校作文コンクール東京都審査 佳作
東原中学校 1年 藤井 友紀	第53回 全国小・中学校作文コンクール東京都審査 佳作
高井戸中学校 2年 中里 悠子	第53回 全国小・中学校作文コンクール東京都審査 佳作
光塩女子学院中等科 3年 鈴木 麻里絵	第47回 全国学芸科学コンクール 読書感想文部門 銀賞
光塩女子学院中等科 3年 高野 香奈子	第84回 全国学校書初中央展覧会 東京都教育委員会賞
国学院大学久我山中学校 3年 柏木 健作	残像表示時計の開発・製作 第47回東京都児童生徒発明くふう展優秀賞
阿佐ヶ谷中学校 2年 上野 星矢	第57回 全日本学生音楽コンクール東京大会 フルート部門 第一位
天沼中学校 3年 尾池 亜美	第11回 日本モーツァルト音楽コンクール ヴァイオリン部門 奨励賞
東南中学校 2年 千葉 水月	第2回 ドコモ未来ミュージアム 中学生部門 準グランプリ
チーム Hori Hori 堀之内小学校 6年 伊藤 慎 小林 裕 藤本 憲一 聖学院小学校5年 北島 守	ロボカップジュニア世界大会(イタリア) プライマリー(小学生) ダンス部門 優勝
アンティーク 井荻中学校 1年 川崎 基實 井草中学校 1年 及川 一輝	ロボカップジュニア世界大会(イタリア) セカンド(中・高生) ダンス部門 優勝
高円寺中学校生徒会	第20回 NHK杯全国中学校放送コンテスト テレビ番組部門優良賞
東原中学校放送部	第20回 NHK杯全国中学校放送コンテスト ラジオ番組部門優良賞
阿佐ヶ谷中学校吹奏楽部	第3回 東日本学校吹奏楽大会 中学校コンクール部門 金賞

スポーツ栄誉顕彰

全国・関東大会・東京都の体育大会などにおいて優秀な成績を収めた方々に対し、その栄誉を表彰しています。

受章者及び団体	功績概要
日本障害者スキー連盟 東海 将彦	2004障害者アルペンスキー世界選手権
東京立正高等学校 テニス部 五十嵐 絢佳	第93回全国高等学校テニス選手権大会
東京立正高等学校 テニス部 萩本 麗里	第93回全国高等学校テニス選手権大会
東京立正高等学校 水泳部 池永 早弥佳	第58回国民体育大会(水泳)
東京立正中学校 水泳部 坂井 菜穂子	第43回全国中学校水泳競技大会
東京立正中学校 水泳部 田辺 テレサ	第43回全国中学校水泳競技大会
東京立正中学校 水泳部 中村 咲子	第43回全国中学校水泳競技大会
東京立正高等学校 水泳部 人見 志乃	第58回国民体育大会(水泳)
杉並区太極拳連盟 工藤 雄貴	第20回全日本武術太極拳選手権大会
杉並区太極拳連盟 窪田 則子	第20回全日本武術太極拳選手権大会
杉並区太極拳連盟 下川 和久	第20回全日本武術太極拳選手権大会
杉並区太極拳連盟 鈴木 浩平	第20回全日本武術太極拳選手権大会
高井戸中学校 鈴木 憲	第43回全国中学校水泳競技大会
杉並区バドミントン連盟 武田 享	第20回全日本シニアバドミントン選手権大会
杉並第三小学校 中村 祥	第26回全国JOCジュニアオリンピックカップ夏季水泳競技大会
東京女子大学 原 直子	2003年度日本学生オリエンテーリング選手権 ショートディスタンス競技大会
杉並区アーチェリー協会 穂苅 美奈子	第58回国民体育大会(アーチェリー)
杉並区身体障害者協会 大石 孝子	第3回全国障害者スポーツ大会(陸上)
東京立正女子短期大学 大竹 麻里	第3回全国障害者スポーツ大会(水泳)
杉並区身体障害者協会 新谷 雄一	第3回全国障害者スポーツ大会(水泳)
杉並区身体障害者協会 倉澤 久美子	第3回全国障害者スポーツ大会(水泳)
社会福祉法人済美会 済美職業実習所 古野 恭章	第3回全国障害者スポーツ大会(陸上)
杉並障害者福祉会館 元 利昭	第3回全国障害者スポーツ大会(陸上)
S A I K O U 会	第52回全国青年大会(バレーボール)
東京立正中学校水泳部	第43回全国中学校水泳競技大会
文化女子大学附属杉並高等学校 ソフトテニス部	平成15年度全日本高等学校ソフトテニス選手権大会
立教女学院中学校ダンス部	第56回全国中学校・高等学校ダンスコンクール
荻窪中学校 山崎 愛	第27回関東中学校水泳競技大会
日本大学第二中学校 星野 慶二郎	第9回JJGAボロゴルフジャパンジュニアトーナメント 埼玉会場大会
文化女子大学附属杉並高等学校 金子 智英	第37回東日本高等学校なぎなた選手権大会
文化女子大学附属杉並高等学校 岡崎 優	第37回東日本高等学校なぎなた選手権大会
杉並レディース	第21回全日本レディースバドミントン選手権大会 (クラブ対抗) 関東ブロック予選会
東京杉クラブ	第19回関東小学生バレーボール大会
国学院大学久我山中学校ラグビー部	第23回東日本中学生ラグビーフットボール大会
国学院大学久我山高等学校 男子バスケットボール部	第57回関東高等学校男子バスケットボール選手権大会
国学院大学久我山高等学校ラグビー部	第83回全国高等学校ラグビーフットボール大会東京都予選
専修大学附属高等学校 膳 里紗	第51回関東高等学校柔道大会都予選会
井草中学校 引間 文佳	第34回東京都中学校新体操学年別(2年生)新人大会
杉並区ターゲットバードゴルフ協会 村上 功治	第29回東京都公認指導者競技大会
文化女子大学附属杉並高等学校 安田 美奈子	平成15年度東京都高等学校総合体育大会(卓球)
杉並区選手団男子バドミントンチーム	第56回国民体育大会春季大会(バドミントン)
高井戸東少年野球クラブ	平成15年度東京都スポーツ少年団大会(軟式野球)
東京立正高等学校ソフトボール部	平成15年度東京都高等学校総合体育大会(ソフトボール)
東京立正高等学校テニス部	平成15年度関東選抜テニス大会東京代表選考会
東京立正中学校ソフトボール部	第52回東京都中学校夏季ソフトボール選手権大会
文化女子大学附属杉並高等学校弓道部	平成15年度東京都高等学校総合体育大会(弓道)
文化女子大学附属杉並高等学校ハンドボール部 松ノ木中学校 川端 佑沙	平成15年度東京都高等学校総合体育大会(ハンドボール)
	第41回全国中学校スキー大会

「ピーポくん110番」を訪ねて

「ピーポくん110番」をご存知ですか？ねずみのようなかわいいうるキャラクターが描かれている緑色のプレート、まちのあちこちで見かけたことがあると思います。

これは、子どもが身の危険を感じたときに駆け込める場の目印です。避難した子どもを保護し、110番通報などを行います。現在区内には、民家、商店、事業所などに約3,150枚が掲示さ

れています。杉並第七小学校では、被害防止教室の一環として、全児童が班ごとに「ピーポくん110番」プレートを掲示している家々を訪ねて回りました。訪問先では「なにかあったら、いつでも飛び込んでおいで」と優しく声をかけてくれました。子どもたちは「沢山のお家が守ってくれて安心しました。」と安堵の表情。地域の見守りを実感したようです。



平成15年度 教育表彰



杉並区教育委員会は、優れた教育活動、研究などを行った教職員を対象とした教育表彰を行っています。2月17日、指導の工夫、教材開発や授業改善、学校あがての読書活動の推進などの取り組みを果たした教職員3名と学校1校を表彰しました。

所属学校名・職種	氏名	功績内容
杉並第二小学校 教諭	松田 史	誠実・温厚な性格の教諭で、特に障害や問題を抱えた児童に対して、個別指導はもちろんのこと、保護者との連絡、スクールサポートを活用する等、様々な心温まる指導を工夫し、数多くの児童の心を支えつづけてきた。また専門家の指導を仰ぐなど、常に自己の指導改善に取り組んでいる。
井荻小学校 教諭	中山 悦子	常に子どもの視点に立ち、充実感や達成感の味わえる授業の創造に努めるとともに教材の開発・研究にも熱心である。子どもたちが完成させた作品は全校行事である作品展や日常的に展示コーナーで展示しており、保護者・地域の評価も極めて高い。 また学校運営にも積極的に参画し、「モジュール制」などの時間割の弾力的な編成、ノーチャイムによる生活時程の導入、総合的学習の時間の指導計画作成等、現在実施されている新教育課程の基礎を作り上げた実績は非常に大きい。
杉並第六小学校 栄養士	江口 敏幸	学校給食においてリザーブ給食・バイキング給食など、バラエティに富み、児童が心待ちにする給食指導の工夫を図った。アレルギーを持つ児童への対応にも評価が高い。栄養指導面でも生活科・総合的な学習の時間等、様々な機会の中で授業・指導を行う工夫をしている。学校給食に関する研究でも多大なる功績を上げている。 同校は平成14年度は東京都教育委員会から、平成15年度は文部科学省から「学校給食優良校」の表彰を受けたが、これは江口栄養士の功績によるところが非常に大きい。

学校名	功績内容
高井戸第三小学校	多くの保護者の協力のもと学校図書館の充実非常に力を入れるとともに、子育てネットワークを通して、保育園・幼稚園・児童館・保健センター・高井戸図書館と協力して地域ぐるみで読み聞かせなど様々な読書活動を進めている。平成15年には文部科学省等の後援を受け、全日本小学校図書館研究会発表会が同校を会場に行なわれ、約600名が来校し、大きな成功を収めた。

教育委員からの発信

「教育委員からの発信」では、五人の教育委員が紙面を通じて意見・情報等をみなさんに発信します。

夢中になることをみつけよう

教育委員 安本 ゆみ

その頃、東京のどこにでもあった原っぱや雑木林……。杉並の我が家の近くにもありました。入り口に立つて見渡すと、ずっと先の八幡さまの杜まで続く広い原っぱでした。学校が終わるとだれともなく誘い合つて子どもたちが集まりました。中学生もいたし、兄弟に手を引かれた小さい子も一緒に夢中になつて遊んだことをよく覚えています。

背の高い草がしげり、缶けりやかくれんぼはもちろん、秘密の基地を作ったり、遠くに見える家々に灯りがともし親たちが心配して迎えにくる夕暮れまで、ほんとうによく遊びました。年長のことも小さい子の面倒をよくみましたし、その日集まった顔ぶれとお天気を覚えて、どんな遊びができるか考えました。決まりがあるとすればそこにその日集まっただれもが楽しめることを、みんなでやること

がたつたひとつのルールだったように思います。楽しく遊びたいという動機があつて、遊びをみんなで作成しようという目的がありました。現在多くの学校で行われている「たてわり」の原型のようなものでしょうか。こどもたちは遊びということもたちにとつての現実の中から、だれに教わったわけでもありませんが自分たちで考え判断して表現していたのだと思います。



はじめにかまきりの卵や青大将を見たのも、くちなしやれんげの花が甘く香るのを知ったのも、そして補助輪なしの自転車に乗ること

ができたのもその場所でした。どのくらいの高さからなら飛び降りてもけがをしないかと、自分はそのくらいの溝なら向こう側へ飛んで渡ることができるかなど、実際に体験しながら覚えてゆきました。(もちろん足をくじいたことも、溝に落ちてずぶぬれになつて泣きながら帰ったこともありましたが。)名まえを知らない植物や見たことのない昆虫があれば、すぐ家へ戻つて図鑑や本を開いて調べ、新しいことを知りました。この学んだ力で次の日、友だち同士で教えあいながら新しい知識を実物で確かめることもできました。その年齢にふさわしい質と量を心にも頭にも知らず知らずのうちに蓄積していったと言えるかもしれません。

人や自然に興味や関心を持ち、今日得ることのできた知識や体験を、お互いで共有し、学び合いながら成長していったのだと思います。今より学校で勉強する量も多く時間も長かつたのでしようが、流れる時間はずっとゆっくりで、ゆつたりとした時代を過ごしていたような気がします。あの頃の原っぱはもうありませんが、こどもたちが年齢に合ったたくさんを経験し、夢中になることをみつける手助けができればと思います。

ご意見をお待ちしています

「教育委員からの発信」をお読みになつた方からのご意見を募集いたします。

「ご意見は郵送、または区のホームページで受け付けます。」

送付先 〒166 8570 杉並区阿佐谷南1 15 1

ホームページ <http://www.city.suginami.tokyo.jp/> (場所：生活ガイド 子供、教育 教育委員からの発信)

教育改革アクションプランを改定しました

教育委員会は、平成14年2月、未来を担う子どもたちが、楽しく学び、思いやりのある心とたくましく生きる力をはぐくむことのできる教育の推進、区民一人一人の生涯にわたる学習・文化・スポーツ活動の振興を図るため「杉並区教育改革アクションプラン」を策定しました。

計画策定後、学校週5日制など、学校教育を取り巻く環境は大きく変化し、また、区民の学習・文化・スポーツ活動へのニーズは、ますます高まりを見せています。改定にあたっては、このような変化を踏まえるとともに、区民の皆様のご意見も伺い、新計画の策定を行いました。今回は、新たに策定した計画の概略をお知らせいたします。

新計画の期間 平成16年度～18年度

計画事業

類似事業の整理・統合を行う一方、新規に11の事業を盛り込むとともに、ニーズの高い事業の拡充を図るなど、103事業を110事業に再構築しました。主な新規・拡充事業は次のとおりです。

学力向上のための調査、研究

単なる知識量だけではなく、自ら学ぶ意欲や思考力をも学力ととらえ、その向上のための調査、指導方法などの研究、教員の資質向上を行います。

小・中一貫教育の試行

基礎・基本の確実な定着、生きる力をはぐくむための小学校から中学校の9年間を一貫したカリキュラムで編成した小・中一貫教育を試行します。

幼・小連携教育の推進

幼稚園教育から学校教育への円滑な移行を一層促進するため、小学校施設での幼稚園教育を試行します。

危機管理対策の充実

安全教育の推進に加え、防犯カメラの設置、門扉の改修などの施設整備を行い、学校に応じた危機管理体制づくりを行います。

その他、学期などの弾力化、体力向上の取り組み、子ども読書活動の推進などを盛り込んでいます。

「教育改革アクションプラン(平成16年度～18年度)」の全文は、区ホームページに掲載するほか、区政資料室(区役所西棟二階)、区民事務所・分室、図書館などでご覧になれます。

問い合わせ先：庶務課

区立学校の望ましい学校規模

平成15年12月11日、区立学校適正規模検討委員会から、区立学校の望ましい学校規模について教育長に答申が出されました。

答申は、子どもたちの学びがより豊かになり、楽しい学校生活を送ることができる教育環境の整備について留意すべき考えをまとめています。これを踏まえ、小学校の学級数は12学級以上18学級以下(1学年あたり2～3学級)、中学校の学級数は9学級以上12学級以下(1学年あたり3～4学級)が望ましい学校規模と提言しています。

今後、教育委員会ではこの答申を尊重しつつ、学校の適正配置、通学区域の見直しを含めた教育諸条件整備について基本方針を策定し、具体化を図ります。

答申全文は、ホームページほか、区政資料室、図書館などでご覧になれます。

問い合わせ先：庶務課

平成15年度教育フォーラム 開かれた学校づくりと学校評議員の役割

今後社会に求められる人材、学校運営参画の先進例などを取り上げ、どのようにして学校に地域の意向を伝え、反映させればいいのかを考えるフォーラムです。学校評議員の方々をはじめ、学校を支える全ての人のご来場をお待ちしています。



日時 平成16年3月26日(金) 午後2時～4時(開場：午後1時30分～)

場所 杉並区立勤労福祉会館(杉並区桃井4-3-2)ホール(定員350名)

対象 学校評議員、PTA、その他学校関係者

内容 (1) これからの時代が求める人材を育てるために～学校教育はどうあるべきか～

講師：大和証券グループ本社 顧問 同前雅弘氏

(2) 「地域立！」学校の挑戦～学校理事会の誕生～

講師：足立区教育委員会推薦講師

(3) 質疑応答

問い合わせ先：庶務課

学校給食調理業務の 新規委託校について

教育委員会では行財政改革の一環として、平成13年9月から学校給食調理業務の民間委託(自校調理方式)を進めています。平成16年度新規に委託する学校は杉並第六小、新泉小、永福南小、荻窪中、高井戸中の5校です。

これにより来年度は、区立学校全体の約28%(小学校10校、中学校9校)が委託となります。

委託校の様子

委託実施校では、箸とスプーン等の併用ができるなど、食べやすく、多彩なおかずの組み合わせは、児童・生徒から好評を得ています。

また、学校関係者や保護者、受託会社の代表などで構成した「学校給食運営協議会」が設置され、相互の信頼を深め、保護者や児童・生徒の声を生かしながら、楽しい給食づくりを目指しています。

平成14年度の経費削減効果

委託を実施しなかったと仮定した場合の人件費(平成14年度の決算値による1校あたり平均人件費×実施校数)と委託経費を比較し、節減額を算出した結果、7校で約9,700万円(1校あたり約1,380万円)の経費を節減することができました。こうした効果の一部は、教育のその他の施策の充実に役立ててまいります。

今後も、より安全でおいしく、そして楽しい学校給食の提供に取り組んでまいりますので、区民の皆さんのご理解、ご協力をお願いいたします。

問い合わせ先：学務課

教育委員会の動き

平成15年12月～16年2月

【教育委員会開催状況】

定例会	4回
臨時会	1回
議案	8件
報告事項	20件

【主な案件】

- は審議・は報告事項
- 教育改革アクションプランについて
- 杉並区立学校安全衛生委員会設置規程の制定
- 杉並区幼稚園教育職員の給与に関する特別措置に関する条例の一部を改正する条例
- 杉並区立学校適正規模検討委員会答申について
- 平成16年度学校給食調理業務に係る民間委託実施校の決定について
- 平成16年度新入学生予定者への就学通知書発送状況
- 平成15年度杉並区学校文化栄誉顕彰受章者について
- 平成15年度杉並区スポーツ栄誉顕彰について
- 中央図書館の通年開館の実施及び地域図書館の休館日の見直しについて

ペン知る 「青少年自立支援プログラム」ガイドブック『“自立する”ってなに』を発行します。相談機関等の情報や「こころの問題」に関心を持っている青年層を対象に開催した「こころの探検講座」の講座記録を掲載しています。

問い合わせ先：社会教育センター ☎3317-6621



古紙配合率100%再生紙を使用しています。